

# 橋台の設計計算(H29)

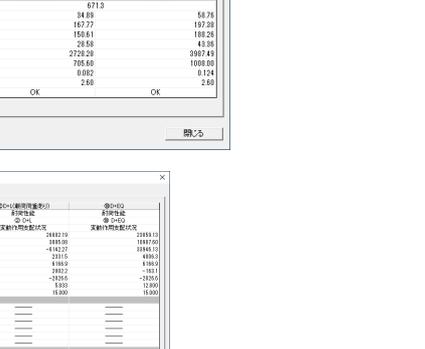
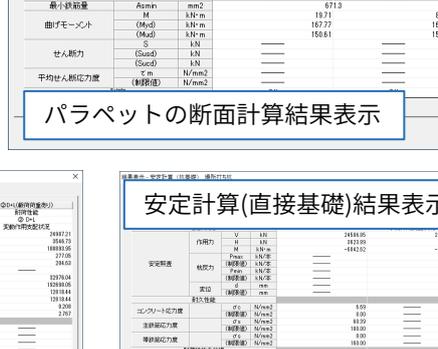
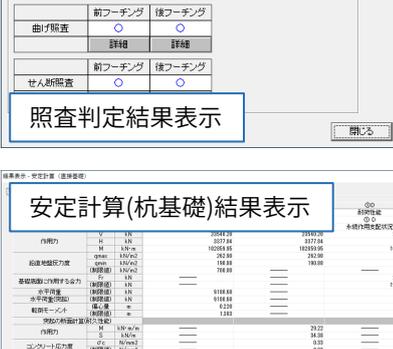
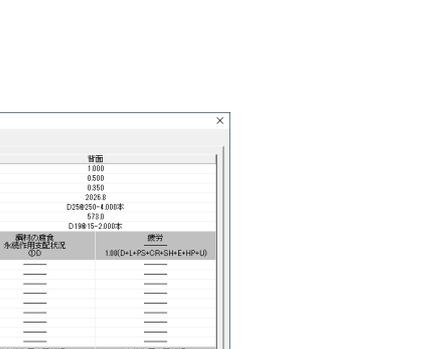
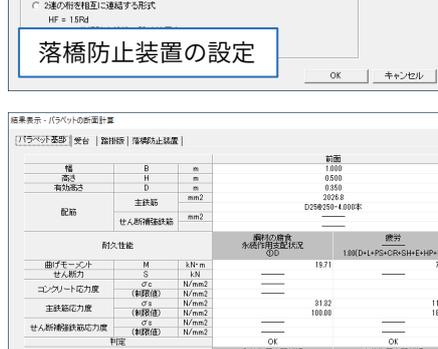
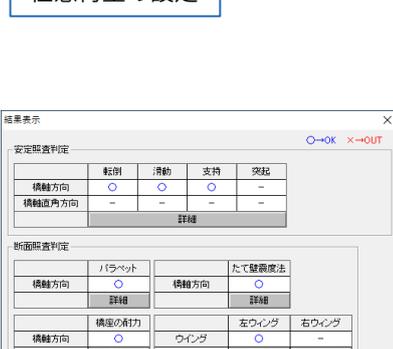
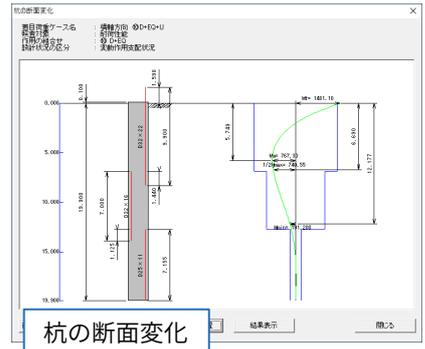
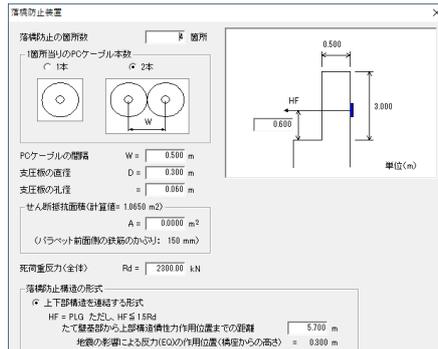
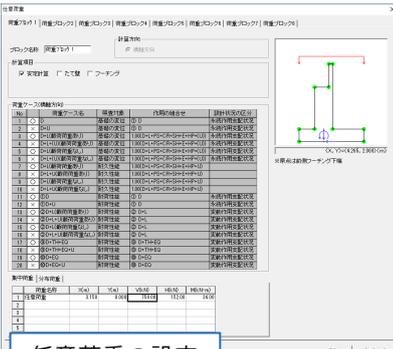
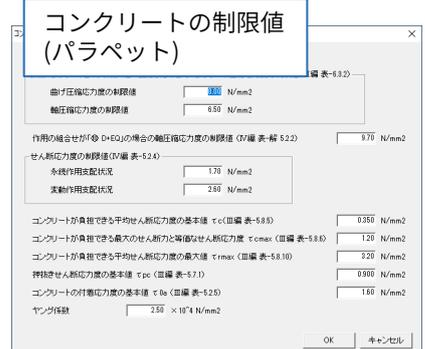
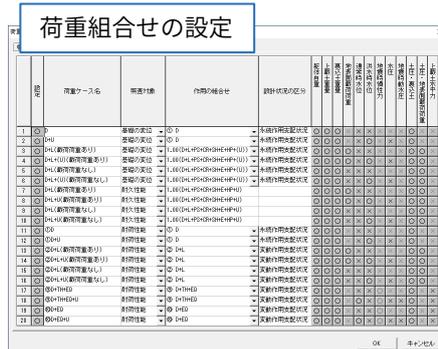
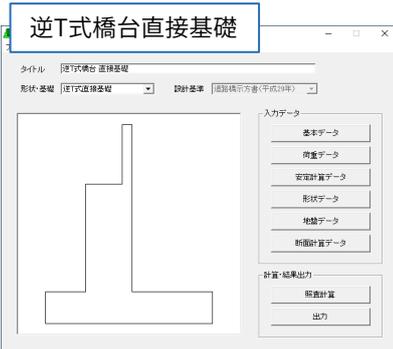
土木・建築設計計算 SUCCES

道路橋示方書・同解説（平成29年11月）に準拠し、逆T式、重力式および半重力式橋台の設計計算を行います。安定計算（直接基礎、杭基礎）からパラペットの断面計算、橋座の耐力照査、たて壁の断面計算、フーチングの断面計算、杭本体の断面計算、杭とフーチング結合部の計算、ウイングの断面計算まで、一貫した設計が可能です。

## 製品特長

## プログラムの詳細

■設計内容と操作性を考慮した構成となっているため、データの作成および修正を容易に行うことができます。



# システムの適応範囲

## ▶ 対応基準

- ・「道路橋示方書・同解説 共通編」（平成29年11月） 公益社団法人日本道路協会
- ・「道路橋示方書・同解説III コンクリート橋・コンクリート部材編」（平成29年11月） 公益社団法人日本道路協会
- ・「道路橋示方書・同解説IV 下部構造編」（平成29年11月） 公益社団法人日本道路協会
- ・「杭基礎設計便覧」（令和2年9月） 公益社団法人日本道路協会

## ▶ 対応形式

- ・逆T式橋台、半重力式橋台、重力式橋台

## ▶ 基礎形式

- ・直接基礎、杭基礎

## ▶ 荷重

- ・荷重ケース  
橋軸方向、橋軸直角方向各20ケース
- ・照査対象  
基礎の変位、耐荷性能、耐久性能
- ・作用の組合せ  
(基礎の変位)  
1.00(D+L+PS+CR+SH+E+HP+(U))、①D  
(耐久性能)  
1.00(D+L+PS+CR+SH+E+HP+U)  
(耐荷性能)  
①D、②D+L、③D+TH、④D+TH+WS、⑤D+L+TH、⑥D+L+WS+WL、⑦D+L+TH+WS+WL、⑧D+WS、⑨D+TH+EQ、⑩D+EQ

## ▶ 直接基礎

- ・支持地盤の種類  
粘性土地盤、砂地盤又は砂れき地盤、岩盤

## ▶ 杭基礎

- ・対応杭種  
鋼管杭、PHC杭、SC杭、場所打ち杭、鋼管ソイルセメント杭、回転杭
- ・対応杭工法  
打込み杭工法、場所打ち杭工法、中掘り杭工法、プレボーリング杭工法、鋼管ソイルセメント杭工法、回転杭工法
- ・最大地層数  
20層
- ・最大杭列数  
30×30列
- ・杭配置  
正方配置、千鳥配置、間引き配置、任意配置、斜杭

## ▶ 計算範囲

- ・安定計算（永続作用支配状況及び変動作用支配状況）  
[直接基礎]  
転倒、滑動、支持の照査（滑動は、突起考慮可能）、フーチングの剛体判定  
[杭基礎]  
安定計算、杭の断面計算、杭の断面変化、杭とフーチング接合部の照査、フーチングの剛体判定、負の周面摩擦力に対する検討
- ・断面計算（耐久性能・耐荷性能）  
パラペットの断面計算、橋座の耐力照査、たて壁の断面計算、フーチングの断面計算、ウィングの断面計算、踏掛版の設計、踏掛版受台の設計

## 動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS

Microsoft Windows 11,10  
※Windows動作保証の最新情報は[こちら](#)

ハードディスク

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

メモリ

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

ディスプレイ

1280×1024以上が表示可能なもの